

鉄川与助

西日本の教会設計者

若き日の鉄川与助

晩年の鉄川与助

田平天主堂(平戸市)©濱本政春

頭ヶ島天主堂(新上五島町)

鉄川与助(1879-1976)は、一家の長男として長崎県五島列島の大工の家に生まれました。

1899 年に曽根教会の建設に関わりました。1910 年、大浦天主堂の大司教の館を建設する際に、彼はド・ロ神父に出会い、さまざまな西洋建築の技術を学びました。

彼は、自らは仏教徒であったにも関わらず、その生涯に西日本の 30 以上の教会を設計しました。彼の特徴的な建築様式は田平天主堂や頭ヶ島天主堂などに顕著に現れています。